

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月10日

上場会社名 データセクション株式会社
 コード番号 3905 URL <http://www.datasection.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 澤 博史
 (氏名) 望月 俊男

TEL 03-6427-2565

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	264	—	53	—	50	—	35	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 一百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	4.16	3.31
26年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	1,000	933	93.3	99.96
26年3月期	322	286	88.8	36.52

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 933百万円 26年3月期 286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	409	—	115	—	110	—	70	—	8.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	9,342,500 株	26年3月期	7,840,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	8,439,255 株	26年3月期3Q	7,840,000 株

当社は、平成26年10月20日開催の取締役会決議に基づき、平成26年11月6日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、海外景気の下振れリスク、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化などへの懸念は残るものの、経済対策及び金融政策の効果が下支えするなかで企業収益及び設備投資は持ち直し傾向が続き、緩やかな回復傾向で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

(売上高)

当第3四半期連結累計期間の売上高は264百万円となりました。この主な内容は次のとおりです。

(a) SaaS

Insight Intelligenceシリーズは、「ソーシャル・ビッグデータの傾聴・分析を行うツール」であり、調べたいトピックに対して、網羅的に収集したソーシャル・ビッグデータをリアルタイムに分析できるツールであります。

当第3四半期連結累計期間はビッグデータの活用が広く認知されて来ていることから堅調に新規受注を獲得し、当サービスの売上高は92百万円となりました。

(b) リサーチコンサルティング

SaaSで提供するツールだけでは自社の要望を可視化できない顧客に対し、ソーシャル・ビッグデータから何を認識できるのかをレポートングしております。

営業面ではビッグデータの活用を経営課題とし始めた大企業を始め多くの企業からの引き合いがあり、広告代理店やSIer企業とのパートナーシップ連携によりコンサルティングサービスにおける販路開拓の基盤を築き上げることが出来ました。この結果売上高は68百万円となりました。

(c) ソリューション

ソリューションは、顧客が持つ「自社内ビッグデータ」を基に、当社グループに蓄積されているソーシャル・ビッグデータを組み合わせて、上記SaaSサービス技術を活用したセミオーダー型のサービスの提供を行うものです。

ソーシャルビッグデータの新たな活用に向けての需要が増加していることから業績も好調に推移し、売上高は104百万円となりました。

(売上原価)

当第3四半期連結累計期間の売上原価は86百万円となりました。この主な内訳は、人件費45百万円、業務委託費20百万円であります。

(販売費及び一般管理費)

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は125百万円となりました。この主な内訳は、人件費71百万円、研究開発費24百万円によるものであります。

(営業外損益及び特別損益)

営業外損益の主な内訳は持分法による投資利益3百万円、補助金収入3百万円、株式交付費7百万円、株式公開費用3百万円であります。

以上の結果、売上高264百万円、営業利益53百万円、経常利益50百万円、四半期純利益35百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、893百万円となり、前連結会計年度末に比べて637百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が638百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、106百万円となり、前連結会計年度末に比べて40百万円増加いたしました。この主な要因は、減価償却費の計上により有形固定資産と無形固定資産が減少したものの、ソフトウェアが21百万円増加、ソフトウェア仮勘定が23百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、64百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。この主な要因は、賞与引当金が5百万円増加、未払消費税等が12百万円増加、未払金が8百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1百万円となり、前連結会計年度末に比べて0百万円増加いたしました。この要因は、資産除去債務の利息費用であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、933百万円となり、前連結会計年度末に比べて647百万円増加いたしました。この主な要因は、第三者割当増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ102百万円及び新規上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ203百万円増加すると共に、四半期純利益を35百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年12月24日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	188,779	826,921
受取手形及び売掛金	60,073	48,376
その他	7,342	18,400
流動資産合計	256,195	893,698
固定資産		
有形固定資産	5,956	8,898
無形固定資産	29,233	62,425
投資その他の資産	31,182	35,526
固定資産合計	66,371	106,850
資産合計	322,567	1,000,549
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	12,847	11,071
賞与引当金	—	5,540
その他	21,359	48,008
流動負債合計	34,206	64,620
固定負債		
資産除去債務	1,967	1,975
固定負債合計	1,967	1,975
負債合計	36,173	66,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,217	405,305
資本剰余金	71,000	377,088
利益剰余金	116,176	151,558
株主資本合計	286,393	933,953
純資産合計	286,393	933,953
負債純資産合計	322,567	1,000,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	264,961
売上原価	86,375
売上総利益	178,585
販売費及び一般管理費	125,498
営業利益	53,087
営業外収益	
持分法による投資利益	3,828
補助金収入	3,666
その他	1,531
営業外収益合計	9,026
営業外費用	
株式交付費	7,456
株式公開費用	3,665
その他	43
営業外費用合計	11,165
経常利益	50,948
税金等調整前四半期純利益	50,948
法人税、住民税及び事業税	17,721
法人税等調整額	△2,154
法人税等合計	15,566
少数株主損益調整前四半期純利益	35,382
四半期純利益	35,382

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	35,382
四半期包括利益	35,382
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	35,382
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月2日及び平成26年4月24日を払込期日とする第三者割当増資を実施し、資本金及び資本準備金がそれぞれ102,768千円増加しております。また、平成26年12月24日付で東証マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ203,320千円増加しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が405,305千円、資本剰余金が377,088千円となっております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社グループは、ソーシャル・ビッグデータ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。